三百米ほどなので、

93

清珠が落っ のの海珠 如外山松

みれば十九日間において事故おける運轉事故或績を調べて

事故防止の

効果は擧らぬ

新京鐵道事務所

管務廳を中心として日本人官【吉林園通】最近吉林省公署

は責任のない事故であつた

北黑線辰清

監督者もそれ

順官三輪昇三の 理を了しました尙監督の地域せしむることとし既に整塡せしむることとし既に整塡せしむることとし既に整 監督不行国のかじ

現地に急行した 病菌撲滅

遠藤總務廳長語る \嚴重處分 各地とも好評されたのはまで大月十三、十五日、東天で六月十三、十四、十五日、東天で六月二十三、十四、

月七、人の同日それぞれ土工十一日七月一日、新京では

マ亂れ

保長に南酸を求め縱一尺五寸名が新京地方事務所鯉沼則方

寸方

るので同代表は同様陳情書を は新京特別市公署になつてゐ

も提出した

及び関都建設局へ

方事務所長荒木章殿と肥し横五尺の大封筒の表に新京

表に新京が

には「寛城子住民一同」と記し

內地人男

行倒れ死体發見

心當りはありませんか

吉林省公署警務廳 暗闘など断じて無いと 顧問は語る

たが右につき鯉沼地方保長は

マを飛ばするのがある標だ さる事作り満人官吏の迷惑も さる事作り満人官吏に及ぼ そんなデマの放送者に對し ては以後断乎たる慮置に出

日満を股

にか

前借踏

馬ねす 三頭を窃取

裏面的策動等も決して行は近て無い。又職を作る爲の知らず吉林省警務廳には際

極め、 廿日鴻藏入電に依るとに於ける炭疽病は其後猖獗をに於ける炭疽病は其後猖獗を

馬七百頭斃死

同日迄の權病馬一千頭、內七

高砂町八丁目四番地羅榮文氏 方荷馬車夫阮成業(三五)は 家人の不在中を奇貨とし馬小

伊之吉 子(二五)とサ 三笠町喜代本一

で同様三百圓を踏倒し再ひ女し、奉天十間房料亭たつのやし、奉天十間房料亭たつのや

中を去る。 連に潜伏され、

八十二日直方署から、男の自白で女は大い中を逮捕された同場

新京、寛城子間の

道路改修陳情

本は民は個へに同道路の改修 は が計二日午前十時三十分ごろ で が計二日午前十時三十分ごろ で 倒し京城に高飛し、司年六月十六日前借二千 入船町四丁目某知人方に潜伏り

身柄引取に來た

あす

より

申込締切り

選手權

會

ち責任ある事故としては僅か | みる目も氣の毒になる薪京、とになつてゐる、最もこのう | 杜絕狀態に陷つて、はたから日平均四、四件づゝある、こ | 歩行は勿論車馬の通行は全くる事故累計件數は八十三件一 | 一朝降雨をみれば五日間位は

も到底意のまゝにならず寛城 火災防止上又軍事上からして 火災防止上又軍事上からして

けふ居住者一同の名を以て

間にお

飢ゆる小供

せ、農家の周

はながら何といふ荒凉さだ、 ・ 共泥物と草の密生地帯である ・ 大泥物と草の密生地帯である ・ 大水管がした銀飾がひらめい ・ た水管がした銀飾がひらめい ・ た水管がした銀飾がひらめい ・ た水管がした。 二匹、三匹、 ・ 三匹、三匹、三匹、

治療州の原始林の話はよく

ソ聯農民の生活狀態

悲劇一幕

で通りかけて来るので、多いで通りかけて来るので、多いで、 教情でこつちを見てゐたが、 んが操になって かんで投げて が存になって

聯合艦隊

新京から警官隊急行

たる を表 を表 を表 を表 を表 を表 を表 (天津二十一日愛園通) 邦人片殺說

建築現場員募集

右至急募集ス

姓名在社

心の子にも

露國境を

探

る

(七)

- 炭抗員と交職中である。 - 炭抗員と交職中である。 附属地に匪賊 碑嶺炭坑 なほ同地附近は小匪賊圏が多

大好きだそうです▲こゝのパリカルピスでもシャべるのが ターはありませんか▲三笠町さへきけば一人で踊つております、だれか相手になつてスます、だれか相手になつてスます。だれか相手になってス には十八になる光子が 三丁目にお目見えの喫茶梅 彼女は滿洲の多が早く訪れた

八千名、奉天カー。 「百名の多数に上つた、出品物 百名の多数に上つた、出品物 で一千七百名合計一萬三千三 が一千七百名合計一萬三千三 断、朝鮮もの二百點、 成川派遣婦會の 日午前九時酸鳩で

地に赴く答
地に赴く答

連絡運輸

土產物展

1

中 動務せし優秀なる模範者揃ひ 関係通成川振遺婦會は約一ヶ月 が、同會看護婦 し悪北病院より五年以上斯道 に研讃を積みし積臨潜継婦だ 附添婦等十数名同伴内容の擴 その多数を擁し何時にても需 めに施すると

本新發屯県智路一〇人號工際中、十八圓を部八は未革製棄口一個在中、十八圓を二十一日午前地平本洋行空家で仕事中何地平本洋行空家で仕事中何地下本中三ッ揃洋の一番六十四番地古川菜一部氏は廿一日午前で出来では一日午前では十一日午前では十一日午前では十一日午前では一個在中三ッ揃洋

・ ・ は密手小荷物及ひ貨物の運送 に関する護題を九月十日まで に関する護題を九月十日まで

品作後助之貞笠衣 ーキートルーオ

奉撫バス

第十四の鮮満合連絡運輸會議 は来る十月二十四日から二十六日まで合业で開催される豫

荒木貞子、山口勇 生演 滞田ナンセンス映書

四日間上映 八月廿三日より

第二艦隊司令官等、職隊司令官等一職隊司令官等一職隊司令官等一大野衛一職隊司令官等上海隊司令官等上海隊司令官等上海隊司令官等上海隊司令官等上海隊司令官等上海隊司令官 吉 ふものとして苦情あり、睾天 あ 零天課から撫順行旅客を奪 場を 零天課前に 次定したとこ

奉天撫順間乗合自動車の始設

漸く圓満解决

第季秋

方事務所に申出て欲しいと告外に対し、大事務所に申出て欲しの前は新京地がら若し心質りの前は新京地がら若し心質りの前は新京地のみる。

(土)日一九(土)日五廿八 (日)日六廿八 (日)日二月(月)日七廿月 (金)日一州

所感に曰く「滿州の虫と智てならんですネ▲ズロ子滿 ん、ココちゃん、か

杯か

>

3

率天犀前を以て始散場とす

ーピスの萬金を期して

は、南京虫位だと思つてるたらこちらにもマッ虫なんですネー」、内地と遠つて満州には人の肉まで喰ひものにする虫があるからご用心々々々。こ

れてゐたが廿一日朝廟者の間 奇座

人生人人

電話增設衛二七二四 B 本橋通り

動車運轉手 **全** 至急募集 すし竹食堂

(但電話其他の間合せお願り)希望者は午前九時より正午迄に楽人 但內地人に限る動車運轉手 十名 新京夕 來人來談に限る 既三四五九番 お

安見卓治 〈三十四〉 行為ありたるに付 八月十七日限り帰屋教 店とは何等關係無之候 力 選 逸製 N

長崎屋洗布所 到着!!



年齢二十歳前後の實直なる者を求む

員募

食料雜貨 調

電話二一

五七 **新**所

知

是非お越し下さい!! その醉心地 新京に唯一軒の 版 賣

書類代書御用命の程御願申上候

事務所

新京永樂町三丁目假事館的

興信館代書處

来る二十五日創立總會開催する二十五日創立總會開催する1二十五日創立總會開催する「本橋通林洋行」な「動」の御方有之候得ば電話二一六五番(日本橋通林洋行)な「山田」の御方有之候得ば電話二一六五番(日本橋通林洋行)な「山田」の御方有之候得ば電話二一六五番(日本橋通林洋行)な「山田」の御方有之候得ば電話二一六五番(日本橋通林洋行)な「山田」の御方有之様である。 岐阜縣人に告ぐ 新京 創岐 立阜發早 起縣

同會

仕 採 用

四日履歴書携帶本人出頭あれ 年齢十六、七歳の日本人男希望者は八月二十

東軍 司 令

付御報次第参上いたします 東二條通橋南渡る左

あ

ま

移張

ジま 關治療院 一陽堂

◇◇◇鎖サん 電話五八二九番

待兼の

0

酒



り、李院附近遭地が、く然種の同人の様子院内各種類の歴文、即

にはアラビヤ文

能に発生し、

ソクエート映画版に、日本人の地

Ó

傷に後さんとしてをり、新宮典に力を注いだ結果今や漸く

第一新 新 復

の秋で

関係に捉はれず國家的見地 はれる本格的折衝に於ては

首都土建界の

高り庶民金融の第一 こととなり、之が新

る成五つにる

自動車激増で

統制會社設立

間島方面に新運動

社は屋報の通り

なより新設の任に活躍すべく で本月中に力等新しい指定さ で本月中に力等新しい指定さ

の被害

新設地近

く决定せん

新任理事來月早々より活躍

合作社の

有卦時代現出

満鐵も改修に大童

の分野を明確にすべき

案につき夫々慎重なる審

各省川に意見の隔り

かけた終况さである工事の主 | 諸工事であるが之れに民間のひで昨年に比して一層拍車を 行、鐵路總局、國都建設等のの意築がは慣に素晴らしい勢 滿線、滿洲國需用處、中央銀本年度に於ける新京、奉天、 なるものは陽東塵、陽東軍、

計畫の下に各省と交渉 部當局に於て三十合作計 中である、新数地は目下

車体散は本年四月現在にて乗自動車楽は最近著しく設建し

用七五、貨物用五一、計一二六 激基なる競爭等の誘擎等級出 し、交通機関の統領上基しく

に依る被害地方

新設地の決定

三民政治

0

影響で

一体を目的とするもので心身の所にして経文を聞き教義の

營口に取引所

際のたる

の衣服に萧換へ

拜、の四種

米穀並に各種近海貿易集散地

九千年間足の上にな

有力者協議

を この は、彼れらに、 関土として、 かっのは、彼れらに、 関土として、

の御散に、ひざまづき

位を占める營口に於ては最して滿洲國貿易界に特殊的

着日に於ては

において、窓心に出

町の特米

か時の裏服にも

では、根やれなかつた。 の世界派化主義と、わが興備とは かは、根やれなかった。

見かれ、単かれ、彼辺離然をい る日は、微然あらればにちぬと

してるるではで

文廟の例祭廢る

百余年の歴史を辿りて…

がされてゐたが、「部分は同寺の信徒であ

寺の模様および自教に

新節は毎年各一回奉行す回教 毎週金曜日に奉行し禮祀節開 毎週金曜日に奉行し禮祀節開

寺の模様および

超旨に基いて在隣機構を

平格的折衝に入る #機關改革問

諸問題を押除け忽如注視の的 から本問題の解决に當るこ

開際的疑義を挑發する様な の簡易化すること 現行機構を平常化し且 の三點を根本原則とし、陸軍改組は避けること **工類を加算すれば滿洲國に於** に達し、更らに鐵道、土木のときは其工費は優に数千萬

のもの多く 結果近々関係共に構内 二時入港のばいかる丸で躊囲神鞭常孝氏は約一ヶ月に亘る神鞭常孝氏は約一ヶ月に亘る る時は日本當樂者と協鯛し

(六) 下南線の萬全を期し之てが改ら下り線が重要観されるに至り、勢ひ同線の改修を余儀なり、勢ひ同線の改修を余儀なり、勢ひ同線の改修を余儀なり、 **輸出権法のみに重きを置きているるのみならず一昨年は清縄本線は石炭、特産等の**

銑鐵值上否認 神鞭製鑛理事歸任 のと見られてゐる に比して此處暫ら

じて良いか見當が付かない して良いか見當が付かない して良いか見當が出来たと報道されてゐるが、どの環度迄信

スツボ 料

師二名が搭乗、龍井を根據 り活動を開始 撫松一帶 天候恢

ら蒙江一帶の撮影に移る 近日本機畔

的能がぎりなき疑問



野って、麻酔光 に敗れするの興味の様でが、陰下一数となるならば、欧歌は、中国 教となるならば、既就は、立院の大神戦に立ち返り、戦闘

心に返ることこと、日本更生の製 また、内外所機の認識、原味の 四日間上映 月廿二日より

西七七〇番吉野町一丁 みどり茶園

の御用命は

第十百子、山口勇 党木百子、山口勇 主演

一般證券實物賣買業 株式長期延清算取引

御申越大第叒呈仕

りかの世界歌一主義と、アジアの歌館しなければならなかつた。

品作使助之貞笠衣 ーキートルーオ

新紀元 **人豆硬化油界に**

英海運助成

商相の聲明

大學地下

機と赤

と見られてゐる

見てのもの

にならないのであつた。

を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 一級電気の予念の を関する。 一級電気のでから のでから である。 は、そギリスの が、のでから にいるでから にいるでから にいるでから にいるでから にいるでから にいるできる。 にいる。 にいるできる。 にいるできる。 にいるできる。 にいるできる。 にいるできる。 にいるできる。 にいるでもる。 にいるでもる。 にいるでも。 にいるでも。

株式會社滿洲取引所仲買人 福奉 あまつらのから

新京入舟町二丁目九ノ四新京方面御客様のために 電話展 四の六 5 八に

曾 吉斯町吉野平內新京支部 派遣大連連耙研究 北貨間 魔に賄附顧彼 高機 素人下宿野三九五番へ貨事務電市内目抜の通り は対話は私日で、一般を表現で、一般を表現で、一般を表して、

設行所 新京日日新聞社 水態內 之介 荣 忠 17 A A

(学学)

川路慶太郎福 吉

科林扬

篇

東亞

の天地

(木) 日三廿月刀

対反 京本 会会 新田

てきて、輝きを見せてきた。 (五次五事件の内容を知ったの は、けふが初めてだ!) と、興味が深まつてくると、糕 最間数三のは目、

欧への変の

一般であって、またの性のない。 に然いては、かるの状態を脱し、 に然いては、かるの状態を脱し、 に然いては、かるの状態を脱し、

れることが、

大化の欧新・駅舎の総靴では、

中間階級たる課院を除ぎ、君民一

を作成すべく満洲航空會社よを精密に撮影し、森林分布圏 り二張の旅客機を借受け撮影 間立しくなった。 意にあらと明んだっ 門太を関るものは、その親先づ欧 ― 五、一五の綾供らは、現代 前に、 酸性を妨げら 政治家は、選提

作件の頻楽等

支、行き詰つた。―この病患が、わか関古米の奥風を像し

簡易宿泊所

一致の革動が、成し深げられた。 対の革動が、成し深げられた。

一つとして、阿家即念の解はるも

のがなかつた。 これと間緒に財助機保護、中番 これと間緒に財助機保護、中番 だ のつくとの間を向するが如くふまる 関氏との間を向するが如くふまる では、大変に下と では、大変に下と

を限り除かないかぎり、関政の改 草は、出来いのであつた。

大道事件が起こるまでに、民心 東二条通り機南陵る左至急御同致します。 あ 陽堂 開始を表している。 れ ま

御用命八森脇寫眞館へ大優路十五大 高し 技術・廉価で

五

0=

全部御取扱申上げます

正に就て前議會に於ける骨拔一悪接會、パンフレット其他の選舉法に伴ふ施行令其他の改一員して部落を單位に購資會、東京國通」內務省では改正一市町村吏員、教化團体を總勒(東京國通)內務省では改正一市町村吏員、教化團体を總勒

を頼り樂觀 外務の對策

き的修正を補足すべき嚴重規正に就て前議會に於ける骨拔

を御召し 米の現狀御聽取

阜軍將兵の活動で

治安確保された北満概况

聖上近衛公

資本金千二百萬の

滿洲煙草會社出現

十一日創立總會開催の運び

増税の可能性 軍需品單價切下げ 収支均衡法につき鋭意考慮 注目さる 明年度豫算編成

政略外交の全貌

(T)

0

北鐵交涉側面

環は大体 に 於て明 地であるが目下の心として本年度以上の困難を強 をしてるるので、関内の誤解 に努めるは勿論國際政局國内 経済等の動向を洞察し財政均 に努めるが目下の心 は少な きもの と観年度 増税の 可能性 は る限り特に著し さ る限り特に著し で る限り特に著し ないので 勢ひ歳 出品の 單價切下 げて 品の 單價切下 げて 間 か計上 する意 向で あんてゐる

らしてゐる、而もその方法と 國防費の一部を

其他に於ける教支均衡

農村救濟費へ

新へ、出來るならば國防費の | 曾有の事丈けに蕭償暴落と飯 | 就いた表が軍部當局に農村の窮狀を | けられ度いと陳情せる叫は未 | 塘沽硬、東京國通 | 政府では農村代 | 一部を削いても農村救済に向 ぎを了し、東京國通 | 政府では農村代表の| 陳情に 當局| 對策協議 | 2年後週

其に「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中とは「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中とは「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中とは「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中とは「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中とは「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中とは「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中とは「北磯をむざむざ養却羅遊 度を採らんとし、またソ聯中と

使らず保護する、痛り のソ聯は赤系從栗員を は微道の運命に関し何

質力的脅威はもとよ

張よりして常分雨下の模様 い、日本は補り關係よりの緊

で、日本の經濟議出、鎌道計 ・ 日本の經濟議出、鎌道計 ・ ること

▲上海倫敦向 「市里片(分別 「市里片(分別

疊

目品業營

上表新裏表 吳 敷座疊替替

オランダ政府

日蘭會商前途好轉

第一回

★大連煙合向 ★阪神日米爲替 ※10年15分割

龜二丁目

疊店 **建筑五三四六等**

御下命下されば直に多上疊の御用命は

であるが北上後の処理にないであるが北上後の処理にないたと仄聞する」

部との折衝を避け文人との でかに言つては主として軍 ・非武装區域内の路脈業の

現 大田 を美 大田 を美 物 運動 最少 作

日本の軍権は頗る疑は不年の所割國際危機以不年の所割國際危機以

いふべき新提案を出すといふ脱田最後案に勢する對案とも れないといふ周到な用意から

(アムステルダム廿一日酸園 が至當から間間の前途顔る好轉するもの 感じて行は) 間田政府が資権した日本 同識とたと伴へられ、日間 口に同意したと伴へられ、日間 要は誰しも

要は誰しも感ずるところ 新京、寛城子間道路改修の必

各地市場

新築貸部屋

勢力に汲々としてる

なきものと見るが如何に予感じて行はざるは當局に誠意

往來

紹介先

天昌洋行自轉車店

船舶問題で

又引掛かる

喜多大佐引

十六日午後一時頃ソ聯 | 滿載して光興鎮を極て黒河方 | ンチ以上より當地東所入電に依 | 大型商船が約五百名の赤兵を | 面に向つ

ル長身銃砲を搭載したか、同日口徑十七

て三江口方面に向つたと

「バタピア二十二日發國通」二十一日日本代表部は船舶問題を曾襲に入れる事について従来と異つて會襲に入れる事に反動の割令を受けたのではないかと觀られる理由あるオないかと観られる理由あるオないかと観られる理由あるオ

▲小澤定義氏(鐵路總局哈市 副局長)二十二日午後三 ・ 田村敏雄氏(財政部國稅課 長)二十二日午後四時三十 分發の地へ ・ 大概公望氏(貴族院職員) 二十二日午後十一時酸率天

ロ午後十一時酸率天空氏(貴族院職員)

店廣

告

一省の意見を斟

近く政府案が

在滿機構改革

の解决を急ぐ

由は此邊にあるのではないか日の會見中止となった質の理

はオランダの面目立たず廿二らしく推運問題を担否される

▲脳太順三郎氏(大連飛陽長) 二十三日午前九時酸大連へ 山田謙吉氏(間文書院教頭) 同上上海へ 一、本社代表、盛 一、京寺報社長)二十三日午前 七時來京奉天から

いに期待されてゐる

政友總務打合會

眞にサービスさして**就く** 破損故障の修理は僅な修理費で完全に

販賣修理

修 理 売

「専門の店」

臨時議會 召集决定

ぎを了し、廿二日午前十一時は、前支那課長に榮轉の喜多大佐は、前支那課長新支那駐屯軍は、前支那課長新支那駐屯軍 至急解决せよ

聯軍艦頻りに

問題を至急側滿解決せよとのナ州知事に對し日本移民排斥米國々務長官代理からアリゾ ヘフエニックス廿一日穀間通)

は成行さを慎重解観し、岡田 が折衝が行はれ、又政府でも の折衝が行はれ、又政府でも では、拓歌三省間に属々事務

紙幣發行額

10年10八九八〇八四日日

で開かれ、農村の實狀に照して開かれ、農村の實狀に照して開かれ、農村の實狀に照している。

▲埼玉縣教育團十名 二十三 日午後零時三十分融青林へ 二十四日午前九時發奉天へ 一四日午前九時發奉天へ 一四日午前九時發奉天へ 一一四日午前九時發奉天へ 一一四日午前九時發奉天へ 一十四日午前七時來京、太陽本 一十七日午前七時來京、太陽本 一十七日午前七時來京、太陽本 一十七日午前十十四日午前 1十七日午前

川期電話

三克克

御用命は!!

電話

五六〇九番

信用と責任を重んずる

西山萬年筆專

門店

ダイヤ街(ダイヤビル)

あれこれとインチキ商品に

はされ

専門店が生れました

保準

東央・光楽堂・芝王四・1五 関三・五共 (・芝ニュ・1) 1 - ・五人三・三) - 「人犬

海外經濟

至间八月十八日

中銀週報

八月十二日 白康德元年

一日午後外務省局長等を官邸

排日を植た

つける

蔣の軍

平官訓

ぎものであると 仄聞す

練期間中に剛長等が修得せるもので最後に訓練期の末期に

反補抗日意識の再確認を期し

復の方法等が試験問題

條約廢棄通告

豫備會商前に决行

海軍問題懇談會外相へ决議文

【東京戦通】華府條約勝築尚 類で世日夜曾合した海軍問題 有志勲談曾代表等は世一日廣 田外相を訪問、左の決議文を 手変した 一、華府條約の廢棄通告を必 ずロンドン豫備會商前に决 四一、自主的軍備に依つて最も四一、自主的軍備に依つて最も 程濟的な関防の安全を速か に確立すべし 限度を協定し、以て関防平 を一、均等なる各関軍能の最大 度に確立すべし 「南京十二日穀國通」 野介石 氏は西南を除く全國四千五百 大 の 関長以上の軍官を三期に分 か 計畫の下に既に本月初旬其第 の 関長以上の軍官を三期に分 か 計畫の下に既に本月初旬其第

一、軍官の國家に對する責任

掃匪抗日何れを光にすべ

歌京、吉林を除く各駐屯地は 新なる北瀬黒龍江省内にある 新なる本瀬は寒氣殊に酸しく 東とて多類は寒氣殊に酸しく 最低等下三十五度に達する本 機像外の纏さである、又夏季 想像外の纏さである、又夏季 な夏季で北海特有の豪雨激し く文字通り泥潭味を没するの (五) 各部隊駐屯北

003

一在つて將介石氏と協議を設

一部を最村へと代表

對日秘策を授けた?

軍駐屯に伴ふ商菜方面に從事 して居る、又鮮人に於ては比 して水田方面に從事せるも事 道に苦んだ、現在約二千名の 道に苦んだ、現在約二千名の

は民中漢民族の一部商業に從事し中には豪古人と雑婚せる者以外は大部分長業に後事し中には豪古人と雑婚せる者あり、事變前後迄は漢、豪雨族の軋轢相當甚だしきものあつたが、建國後は政府の

での情况に從つて執れも縣立以 に下相常數の開校を見て居る、 さを以て迷信的にして殊に襲 古人の頻解数を塞ずる點は獻 を以て迷信的にして殊に襲 大豆、栗の農鹽 を受ける者も亦見逃し得ない。 重業は高粱、大豆、栗の農鹽 を要する點は獻 をでる者も亦見逃し得ない。 重業は高粱、大豆、栗の農鹽 を要する態は をでる者も亦見逃し得ない。 大豆、栗の農鹽 を要する態は を要する態は をでる者も亦見逃し得ない。 を要は高粱、大豆、栗の農鹽 を要はる者も亦見逃し得ない。 を要はる者も亦見逃し得ない。 を要はる者も亦見逃し得ない。 を要はる者も亦見逃し得ない。 を要はる者も亦見逃し得ない。 を要はる。

を以て、特来地勢上有端なり と観られるに至つた、精徹解 を呈し、年産二十八萬二千斤 有力なる縣外輸出物となつて 構力なる縣外輸出物となつて

なつた

まづ以て肚だけは確かに 省いよいよ本腰になる その日

典 大連金鈔票 世代日限

▲上海日本向 11370



四百五十、光安六百其他開通が、現在は美雨約八百、通道

型 ◇チチハル◇ 型 は下蛮(ト魁)と稱して居る 本 は下蛮(ト魁)と稱して居る 市枯より轉じたもので大力者 と云ふ意である、片蛮は蒙古語 力の勇が住んで居たので比の 名が生じたと云はれてある 即ち訓練期間中國長等の訓 が通遮断を行ひ、開係者以 外の者は苦力に至る迄一切 外の者は苦力に至る迄一切 が近づけしめず路傍は「掃腫 抗日」其他の排日ピラを掲

調話を貸し、蔣介石事 別間中毎週一回蔣介石 別間中毎週一回蔣介石 がな受けるものである 別間中毎週一回蔣介石 る事となつてる

麾下にある旨を軍官 は地方電閥に

事によつて閣談を新にするも 親日韓地を云々せるもの此一

質目的が大雄桃就任工作の第三家より蔣介石の園長等訓練の

プローレンス廿一日設園通 プローレンス廿一日設園通 が氏は廿一日伊網首相シュスコ リーニ氏と長時間に亘つて重 要會談を貸したがオーストリ 决定して午後四時敬食し **墺國復辟問題**

番二〇八五話霞

なからしめる方針の下に適切を登促進すること等の情項を なからしめる方針の下に適切 と、在鴻機闘の整調は日津南 と、在鴻機闘の整調は日津南

一、支が

支那は如何なる國家制度

國民黨政策の愚劣なる點

緊急對策を購げる要あり、此際所定方針に從い政府に對し 原所定方針に從い政府に對し 原時護會召集を要求すること を廢棄するを根本方針とし、

電話二〇社三

・清酒月桂冠鳳凰 特約店 御用命は是非弊店に!! 御用命は是非弊店に!! 食和薪精清ビ 料洋 品菓 白 1 一条 部子炭米酒ル

名

食料品なら 方ニ譲度、

該金店以外

質七〇

▲大連特産

新京目拔ノ場所

五.

留となす方針で、第一次の最 一、四倍の豫定で第一次の計 量が豫定の九割三分に達した 力もと豪語してゐる然しか」 すると豪語してゐる然しか」 ったとしても、現に見るソ聯

とは、民家の構造によつても 私が勝路同船したソ聯配出者 三家族十六名(ハルビン白露 インテリ、イヴアン、ノヴイ イツテッ・イヴアン、ノヴイ イヴアンは一九一一年から 三一年までスロボジースタ

復脫線 國 **追ちに匪賊から**

しある、 應戰彼我の重輕傷者多數 の見込であるが、詳細は不明では同列車を目がけ一 齊射撃を開始し、満洲國軍又これに車四輛轟然たる晉響と、もに又復脫線顚覆するや、匪賊 近に潜伏中の匪賊の ため線路を破壞され、機關車外貨客部線小九站、密蜂間を進行中に廿三日午前七時十 分頃附(ハルビン國通至急報)満洲國軍用列車九〇一號は北鐵東 なほ急報により 一面坡より救援列車が現 場に急行 日本人二名は事件に無關係と おかり二十二日籍放えたが、 率天暑に於ける検擧ば益々進 展する模様で大連署では率天 展する模様で大連署では率天

淨

土宗長春寺

電報を本社學務課へ打電する東校長を支持してゐる」旨の

こととなった

東商業校長

辭任に決定す

けふ學務課に出頭

子安地藏盆

晝は子供角力

P

夜は活動を無料公開

黑幕ら捕はる

加三名を虐殺 動を開始した

るた、 尚ほ大連署に 留城した に印刷機を設置せんと企てて ます。

引續き大活動開始

四百二號地の議洲修養團の修養會館も落成したので従来市 内羽衣町一丁目六番地三宅精 一氏宅に事務所をおいてゐた 特別修養側新京支部は廿二日 生怪網會館に引越し、二十三

性ペスト患者

年齢二十歳前後の質直なる者を求む 一章 変 薬 薬 町 一

電話

-0

==辨,

五七 三三 音号所

鄭家屯に發生

新京で第二回防疫會議開く

新修養曾館

明、有質學溶課長の出て、 は二十三日午前七は二十三日午前七はこれを受理、後任は目下のには二十三日午前七はこれを受理、後任は目下の過し新京商業學校々 三野に酵表を提出、有質課長

て列車順復の首魁逮捕に大活

拉賓線小城子奥で

を興へてゆる を興へてゆる を興へてゆる

國幣偽造事 大連署搜查打

きべるなか癖

夏休みも別ちる日、二十一日 新京商業學校一部職員らによ は つて東同校々長を排斥する意 は つて東同校々長を排斥する意

ストはますますその のす開く

筝を握つて喜ぶ脱走者の話

検診を實施すると共に

出場者决定

ソ聯の事を思へば

國境

を

る

何でもやる

在日定時建會を開き年七分配(東京副通)住友銀行は九月

けるの銀相場

長排斥運動 職員會は校長支持に決定 について赤塚同校教頭は語る 全く蹇耳に水です、今朝新 な仕末です、詳しいことは 叉も商業校の騒ぎ

るとこと

旅客小荷物及ひ貨 が防疫の方法を調ず

相互招聘提議

日本体協。

比島体協と交渉

拳闘兩チー

制限取扱ひ

本がことになった を別問は乗車することになった ないことになった

右 なほ同校は二十二日始業式二 | 遂げた結果、「教職員一同はの ます | 教職員 | 同は直に鳩首協議をめ だのではないかと思つてゐ | 東校長鮮任の報に接した同校 を受けてある。 を受けてあるが、生徒は平常通 始してゐるが、生徒は平常通十三日から第二學期授業を開 本社へ打電

独局員を除く)の一般局員を除く)の

建築現場員募集

右至急募集ス

性名在社

となつて脱走の機をうかとつとなつて脱走の機をうかとつとなって脱走の機をうかとつといっている。 人は家族

(する場合は第一號 及ひ貨物(軍需品

奉天對新京の

・ 【東京関連】 米朝中の炎水泳 の龍田丸で瞬間する事となつ

・ 來談詳細面談の上
・ 本談詳細面談の上

新京人島通三十二

新派工

支 九〇八

=

事務員募集

米選手歸國

陸上競技

本天對新京の陸士章技會は二 を控へてあるため再度の凱 で本會は一般ファンから非 で本會は一般ファンから非 で本會は一般ファンから非 で本會は一般ファンから非

龍井 秋式野球 信能非関通」 静井教式野球大 信能非関通」 静井教式野球大 をなつた、、 参加チームは現 となつた、、 参加チームは現 となった下に猛練器を続け

話

(又は貸付にてもよし)

秋競馬 愈上二十五日 100

杉森氏講演 新京高女で

ける北鐵東部線

金勇

はいよいよ本廿三日午後七時 より新京高女に於て鴻鏡主僧 の下に講演を行ふことゝなつ た

取扱商品は日本一 第年筆の病院が開 の 高年

盗

筆の

原だと似つてゐる 等門 店だと似つてゐる 等門 本興へてこそ信用ある事門 を興へてこそ信用ある事門 を興へてこそ信用ある事門 といふより、 曹

實彈射擊 第二回の試み

四九

九七 JU 15

奉慶賀候嚴暑之折柄御尊堂愈々御多

ニニテ

瓦斯及)

京商の

から

▲東一條通五六番地近離出 全東一條通五六番地近離出 を容取された 東三條通二五新本旅館社 を容取された 東三條通二五新本旅館社 を容取された 本来美町三丁目三加藤アパー ト内土木請負業白川仁一郎 ト内土木請負業白川仁一郎 ト内土木請負業白川仁一郎 大田・田午後十時ごろ 自宅四量半の間で現金三十 自宅四量半の間で現金三十 自宅の量半の間で現金三十

お知らば新五四八五番が知らせ

すり

り竹食堂

至急募集

再収調を受く

【東京國通】三土前嚴相は二十二日午後三時豫書3大と して東京地方裁判所諸尚豫書 対事より一時間余に亘り取翻

商業學校では来る三十日四、 当場の計學演習は距離二百米伏 対五酸射彈することとなつて あるが各標的に名譽標的を装 である、今 であるが各標的に名譽標的を装 である、なほ二十六

日には試験射撃を行ふ 陸軍機七十機 似擊演習

【立川國通】海軍飛行學校の計七十 機は來月四日から六日迄實験 さながらの爆撃演習に参加す さながらの爆撃演習に参加す

三土前鐵相

希望者は午前九時より 自動車運轉手 但內地人に限る動車運轉手 十名

(但電話其他の問合せお断り) 新京京 止午迄に来人來談に限る

話船

陳者弊店儀從來 藤天順所機談頭別人として、顧客各位に對し些の過失なく管業を繼續日々堅實に發展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致用短期現物の清算取引並に最高定。 一般長期短期現物の清算取引並に一般長期短期現物の清算取引並に不可き仲買人たるの使命を自覺して、內地との連絡に依り各種の調度を得る取引振の自信を得申候間何卒本店同樣御利用御勝算あら間何卒本店同樣御利用御勝算あら

たは略儀乍ら紙上に御挟拶迄如斯 ん事を偏に懇願致

新規取引御 希望の方に

長崎屋洗布所

書類代書御用命の程御顧申上候

通

事務所

新京永樂町三丁目領事館前

與信館代書處

株式會社 奉天取引所錢鈔取引員

電話三〇七〇番

兼

新京支

振替大通問三九三号 長 野 町 四 丁 目

天加茂町七番地

接着を記して、市本田の本本のでは、近年のでは、100mmである。 100mmである。 100mmでのである。 100mmである。 100mmである。 100mmである。 100mmである。 100mmである。 100mmである。

所張出

鞍山元町貳丁目二十四 螺嶺松島町十番地 和通り 長意転三七八 局前

共體語七八點

后²

八

景:

行发李風唱作

旗銀平他二天在

4

「他太さん、ありがた

お

されから……」

THE PERSON NAMED IN

脚用柳門二ヶ月) 和車頭路切符(往復切符は 一家内所

(往復切符は復路運貨)」と、門司、神戸間乗船が

日本清

特專

世界無比の

生ニンニク

の大教

の傑作かと存します

符發賣所

ポンターリストピューロの機治が主要各縁及各地の

粉京日本橋通七二

支

店

この時、わめくやら

るぜっだがね。

「あア、明き受けたから安心し

できて来た。お出さんの歌はも

満洲女

土 木 用 器 具 製 作 一 照 報 典 版 製 作 一 照 数 解 数 作 一 照 数 解 数 作 一 照 数 作 一 照 数 作 一 照 数 作 一 照 数 作 数 数 作

作切切作作

施設瓦建

行計斯金

修製容類

理作接作

築

物

趣

智無山邊に來てあた

観なは、あはて」でもあがりな

「うるせえ城アだな、ちゃ、お

んとうのことだらのの、気生の方へ

云の題して出て行く。

を切らして下つて行くのは、他太神殿的裏の裏ッ門な板道を、島

綿のお手工

一時

建各各土

其ル

類他類輪

製品

Œ

確

堅

犂

・多少に不拘乞御用命

車

•製作=

近康と迅

速

報話三二

廠

▼受渡貫目は正し

11

も各種豊富に取揃へてあ

村

その夜も野けて

お出であった。

門根一門 ほんとうにさうだつたら、あ 除り突飛な まアよかつたなア、金助の奴。 いらなんだか差づかしいや 生のご説におもひます」

好してゐるから、離れにも相手は 「おいら、一人で館に出るのが

見だってお響アが云ってたよ

こへ押し込んだのも、お楽の指

『また、お乗ちやんがいまさり

以だよっおいらには、今後のいき

れなかった。しかく他太の云ふ とか、まんざら続きもなささら とだったから、お里には信じら 「金助つて以て大帝生より劣る

あたしの家にゐてくれませんかっ 数はれた嬉しい涙が、はらはら

こつがすつかり分つたよる場に関

時家のお乗る分町とぐる

れど屈せざれば順調となる九紫の人、一時の不安はあ

EHLIMATT

■二烝の人 向上發展の大吉 即と内と申が吉 甲と内と申が吉 米ゆる兆あり

べる板が床板 鐵

ペント及塗料

電

土

工用具

テ 1)

大信洋行新京 電話 (三五二三) 番

同上下

替へズボン

▶目科業營◆ 製機上表新 械 造床敷替疊

商場際に西側と

官

新しく出來ましたタパコで御座いあたら でき

本いかど

▲印 唐 唐 寄 港 ※印二三等船客設備船 門司 "种戶(大阪行)

知

眼

夏の旣製洋服箱

支店

(前花開)三ノ三町祝京新

內店質屋浦

◆◆◆◆◆◆ 運河^{無赤}寒栗碎 搬 煉水 部砂瓦石石石

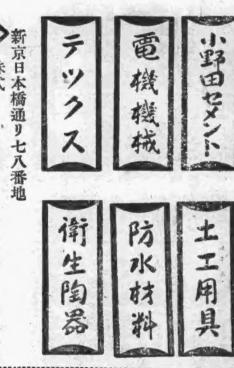
富士町二丁目廿六番地 電話四 茂

辯護士脈大學引地寅治郎 事

面切タベ

(十個人)金 金十二錢





水越内之介 英 本

吉川商會 中村

で左程重視すべき事柄ではで左程重視すべき事柄では 自動車の横暴

讀高。階

へない層 愛ざまに聞くに

分の運轉が拙劣 無やみに不快な

相當居

言はれ巡査や巡捕が尻込をの何々だとか成種高になつ は満州國の何々だとか開東 反をして置きながら傷の主家用運轄手が明らかに規則 ないかと思ふい

で内地で食つめた

反である、新京響に於て之等い有様である、規則運反は違

不良運轉手は徹底的に取締る 任文教部總務應長叙簡任一等 人米 成夫人米 成夫 任文教部總務歷長叙稿任一姓任交通部總務司長叙稿任一姓 古田 医祖 医祖 医祖 任實業部總務司長

断の振

達夫

車業界のみならず各方面の

腰を上げやうとせず、隣校間期が近附きつつあるのに一向

ピンに設置决定

り三日間

は満洲國官民の感情や、

投資を行ふものである、直が原草股份有限公司に對し事ら

安吉 東其物ではない、所謂自動車 車其物ではない、所謂自動車 連其物ではない、所謂自動車 原語の時など吾れ吾れ素人が 見ても規定速度の十六哩以上 のスピードで走り一間位離れ のスピードで走り一間位離れ 上海公便扇一等書記官 ・上海公便扇一等書記官 命殿東在動

何內總領事 永田 命調査部第一課長 調査部第一課長

十二月八年九淮州

立する事となるが右協定内容は左の如くてある

標識其他 諸般の 事項につき協議の上决定する事

満ソ兩國間に共同作用を必要とする場合は共同技術委員 會を以 て之に當

する目的を以てソ聯アムー

ウスリー

スンガチヤ河、

ル水運局と満洲國ハルビ

||洲國ハルビン航政局との間に航路|| 興凱湖 等に於ける航行狀 態を改善

文の起草を了したので、満ソ兩國政府が之を承諾すれば茲に協定は 正式に成(東京國通) 黒河に於て行はれて ゐた滿ソ水路會議は去る十九日漸く協定案

協定案文起草完了

水路會議

「東京國通】外務省離令(二

外務人事異動

・聯の出様注目

令上程在動 令上程在動

日満の發表で 漸く眞相判明

任二等 松田 令輔 松田 令輔

の豫定で、第二工場はハルビ製品が市場に出るのは来年末

依蘭部隊

を全滅

リゾ

ナ州知事

嚴重排日を

取締る

培も促進されるものと期待さ

れ尚喫煙者にとつては安價に

米公使館

任國務院總務應人事處長敍簡

工場用地一萬二千坪は旣に新

有するもの」如く彼等の

るにしかずと

満に於ける 関語」北鎌 関語)北鎌

に非ず

戰術的意圖

重視の 日本海軍の見解

H

714

A 平洋に移

今後無期限太平洋に碇泊

米海軍長官代理發表

哨戒艦隊根據地を

る事とす

及ぼす事は必然の事と親られ

(ワシントン廿二日表験の根據地を大西洋岸から一線に太平洋岸に移動するに決策に太平洋岸が動するに決定し 新軍長官代理へソリー、

大西洋哨戒艦融金艦艇の所属軍港は今回東部海岸へ移動した。但して 情戒を職乃至合衆國艦駅が 今後再ひ大西洋岸に購還しない事を意味するものではない事を意味するものでは

根據地移轉が何等職術的意識 「ワシントン廿二日酸減通」 「ロシントン廿二日酸減通」

「つきルーズヴェルト海軍長 事實上今回の根據地移動によべ西洋の哨戒艦隊根據地移動 事を釋明、之に努めてゐるが「マシントン廿二日愛園通」 官代理は何等職術的意関無き

重大影響あり

平凡に非ず

財気の

生

ところが何はれるのである

ないため、この貼會顕として でどこまでも自己の意見を押

内輪の

業績をあげてゐる 氏は鹿兒島縣の人で同文書院を卒業後日本内地の商工 院を卒業後日本内地の商工 業の實情を知るため大阪府 立質易館に入り支那方面を 措置してゐたが、前肥氏の

後はただこれを脱線させな いやうにうまく舵さへとつ てゆけばよいまでに漕ぎつ

すから三日間

制度量衡量

國の爲、人の爲、我の爲使へ

満洲國権度局の計畫

基金に

萬圓寄附

松花江の防水

のために、飽くまでから

は一大の事に全力をうちこみ。 にが改善に全力をうちこみ。 にある會議所を育負つてこ にいるの事に指され、関東あの離 になる。 になるの事の書頭選挙に當つて、 になる。

新京財界の重要人

金會

石崎廣

ないやうである ないやうである

東年哨 裁監験は太平洋上に 提調し大の如く述べた

の不信、背信、外交的機謀衛つたのでソ聯國民でさへソ聯回日務常局の眞相疑表により 学な記事を掲げる以外光默を 守つて居るがタス通信の一方 的競表により交渉經過が明瞭 を缺ぎ一般に例によつてタス の宣傳は當にならぬと、信を は、今団本関聯党を命どう1. 邦大連駐在領事ミハイロフド

中銀上半期 六分配据置に决定 廿八日總會を開催

配留六、据置と决定してゐる 中央銀行株主總會は來る二十八日閉催されるが上半期の

出外相、ユレニ党を公司を

二日午後外務人民委員部にス 国政府の訓令に募き正式抗戦 ニ日午後外務人民委員部にス 国政府の訓令に募き正式抗戦 を提出した、大田大使は費出 ・マニアコフ氏を訪問、北魏 北鉄譲渡交渉に就ては其圓 人の如く帝國政府 大田大使は廣田

ツ 静 上 連 在作する、尚ゃハイロァ氏の 等を寝つくものが多いといふ 十五日大連出験シベリア経由策を寝つくものが多いといふ 十五日大連出験シベリア経由 、今国本園鬱遺を命ぜられ 大連駐在領事ミハイロフ氏 の大連関通》在任二年のソ聯 北鐵交渉の發表に ツ聯駐大連 辯解に努む の現れであ 交官の全面 群が對日滿外交 エッ大使間に紳士協定が成

領事更迭

大田大使外務人民次長訪問 たではない

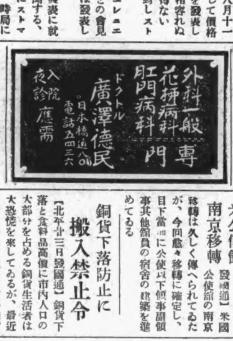
タス通信の競表に就

就いて會談を逃げることとなってコファス長を訪問、時局にエティファス長を訪問、時局にストマ 滿 洲 國解 令

古林省公署即事官 率天省公署理事官 趙 鵬 MB 章大 第 で合法的解決が與へられる

後度々交渉の内容は酸表しっ大使、廣田外相との會見 マニアコア 次長は **其他交渉拠過一切を設装し** 措置と解せざるを得ない 親し事前に帝國政府の諒解 ことなく八月十一 政府が右協定を無 助につき酸煮に収締りを加へ内に於ける日本人農民排斥選のに於ける日本人農民排斥選

るに決し廿二日 関務省に對し 大の如く通告して來た 人に對する暴行は假借なく これを取締る方針である目 下係争の中心となつてゐる



銅貨下落防止に 搬入禁止令

【北平廿三月鹽園通】銅貨下茶と食料品高價に市内人口の大部分を占める銅貨生活者は大恐慌を楽してゐるが、最近更に食料品の買占、市外銅貨の搬入を秘かに行ふ者激増し 傾向があるので二十二日當局 は右銅貨搬入並に食料品の買

総に廢棄する事に決し八月十あり到底不可能と決したのであり到底不可能と決したので 遭難驅逐艦 附で永久に帝國の艦籍か 九日僚艦電の れて沈没し 通り朝 の.一言一動は直ちに全生徒! 事を忘れてはいけない、数句 ▼教育者の周圍には ▼しかもこれを極内々の れねばならないの

非につ 慣みた いては吾人は 校長が就任當時から く、校内に早く 運動が起つてる ら暗流のあつた ころに

依嗣の崩地から小八濤附近に 佐陽無歐は二十一日湖南營、 間に注目されて居る これ等を包閣攻撃し全滅的ん居する約四百の匪圏を急 約四百の匪賊團 興へ潰走せしめたが我

製これ等を包閣攻撃

方の損害なし

品切の際は左記へ 御最御開命の 名古屈取實所 九州青紫所 大阪特萊所 照會を乞ふ寄の特約店へ 名古屋市中區新柳町六丁目ニノー 大阪市北區中ノ島ニノー四 東京市九ノ內二丁目十二番地 船岡市博 多片土居町四

1を納して市民の身長体重 場を使用して計量させ之を 物を使用して計量させ之を 場の偽美麗なるカードに 自由計量所を設け度量衡デー、自由計量所・腰務院裏に 定の長さのも 四

五日より三日

大

のみに寒念してゐるだめ、 あれだけの取引をしてゐな がらも更に失敗の經驗をも

先づ賣れ

満洲への進出を計畫して昭

事變直後にきたもの……それは日本商品の顧問時代であつた、然し當時在滿の各商人は 商品の顧別には少からずまよってゐた時とてこの計劃即ち分館の設立は大いに當つたわけである、氏は屋外運動が非常に野球は相當な大いに氣をはいたものである大いに氣をはいたものでかまでやっては日米の空氣減も險器があると傳へられてゐたので日本人のチームは小さな日米駿である。 から是非勝たればと娄天下にものである。 なは小さな日米駿である。 なは小さな日米駿である。 なは小さな日米駿である。 ないに氣をはいたものでもなりである。 からと非勝ち在留民のためまでやったものである。 ないたは日米の空氣減も險器

實施せられたが更 登極の佳節と日を

海外飛躍の先驅者

分新 館 長京

實吉公望

院二期の卒業

がは實にとりどころのない で見な人間であるから大き いことも出来なければ從つ て失助もないのであると、 こ。は氏の謙そんの言葉に はちがひないのであるが著

く人は地位を得財力を得る といふことが普通でするそといふことが普通です。 となるといることが普通です。

た福帳時代の商工業には役人 が世は既に一襲してあるので あるから商品陳列所といつた でする。 では使らに商品を一堂に い、今は使らに商品を一堂に の時ではない……これは大阪

版 年以東新京に駐在して大阪府はたで単なる調査、情報の報の目的ではないかと昭和七日とに全力を注がねばならぬ理とに全力を注がねばならぬ理とに全力を注がればならぬ理とに全力を注がればならぬ理とに全力を注がればならぬ理とに全力を注がればならぬ理といふことに対して、「要る」といふことに対して、「要なり、「特別ではないかと明和七日ではないかと明和七日ではないかと明和七日ではないかという。

腹く前人にその存在を知ら 出に努めた結果、今日では これらかを購入阪商品の遺

機動は防水基金として金一萬 突破してゐるが、今回林總鐵 突破してゐるが、今回林總鐵 側を寄附して来た 歸省支那留學生

去就に迷ふ

後前 接前 最最高 大時五十十五度四十二分分 分外 大時四十二分分 西の風晴一時暴 大 速 阪夏所 札幌四寶所

> 大連市山鮮温リ 札幌市南二條西十三丁日

京城販賣所 京城府黄金町ニノー 市中を練り廻り度景衡に興す因に二十五日は自動車を以て の概要」と関す

三日間 三日間 日間 林 九月二十日 九月十一日より

任財政部總務司長 任民政部總務司長 壁技館任一等 (各通

三日間 十月二十七日よ 十月十三日より

(=)

反對派の暗躍 解任を拒んだ末永教師 事勿れ事の 破綻期至

3

よろ

とに達し無国

各分會の區域

八會

その他もきのふ次まる

破會式は來月九日

料理組合)同第二分會(城內

城子)同第四分會(南鐵)

會員忽ち

來月は九日間もお休み

秋祭と日曜、二十三日、

式柔道教師として現在の藤原體三郎氏を採用したため末永氏など一部反校長派の職員らによって校長師鬼託末永賢大氏を解任せしめんとしたが、末永氏の强力な反對のため正式に解任せず、而も正 今回の東校長排斥運動の導火線は今春全校生徒のストライキ事件解決に際して四数論を轉校せし **俸給を出せぬといはれ憤慨した事質もあり、可なり兩者の間に暗流があったものらし**

上大満鐵當局の人事行政として遺憾の断があったと一般からみられてある

五、十六日は新京神社のは朔日早々から陽東郷始は強か四日の休み、(日日もなかつたのに反して日もなかつたのに反している日と日曜でお休みが積

日 四日は秋季島藍祭日曜と神嘗 三十日は日曜で三十日間のう 一 大事變配念日、その上九日、一 三十日は日曜で三十日間のう 一 ちに九日はお体みで断然ぶ月

任着任

午後一時五十分家

大日本園防婦人會新京支部第二二回創立委員會は廿三日午送二一時三十分から大和ホテルにおいて小林大佐、四戸友太郎氏、吉澤夫人を始め三十五名の出席、各委員から同會入會申込書(九百六十三票)及會會風分などを協議し左記十三個份分會の決定を見て小林少佐

門田衛生主

長絕對支持 關係方面へ 夫々急電

同窓生としては本問題に對

學校の名譽の爲

たことは全く不徳の致す 辭表を提出

安東の水源

の百キロ計畵

則放送開

新たに聽取料一圓

を徴収

よ々々發質式の日時

だらうと信じますが多分大連の方で出たデマ

東校長大連で語る

「春天 図通」 託帯、東陸ピクニックに赴いた毛皮商米人ッニックに赴いた毛皮商米人ッ 事件かが他色 外人失踪事件

日

辭表提出迄の經緯

本社主催、

排球選手權

爭覇戰

看並に同窓會代表を訪へ を事に決した、右につき の事に決した、右につき が表表が表示に打 の事に決した、右につき

勝の意氣烈々

谷軍陣容全!

けふ主將會議で組合せ决定

B

後六時州分より

本土の大学及び沿海州方面までも電波が及ぶ事となり職収でも電波が及ぶ事となり職収石に伴ふ放送局側の下放送計

の放送局を設置する ・ 放送局を設置する ・ 対一キロ局の開設 即ち 中の

記念放送局では来る九月一日の電々會に創立一周年記念日、九月十五日の日瀬麓定書調印記念日、九月十八日の補洲事記念日、九月十八日の補洲事

れ僧日の役闘まで決定された 校講堂の検定)で藤大に健さ 地理前へ雨天の際は室町小學

本附屬地第一分會(廣進北) 同第二分會(富士町、三笠 同第三分會(富士町、三笠 町)同第四分會(日本橋山) 阿第五分會(入船町、朝日 河第五分會(入船町、朝日 河第五分會(入船町、朝日 河第五分會(八十安通、

会には富士區の百八十票を筆 士を見送らはずである。 おり、廿三日第二回創立委員 十分凱旋するこれら白 たが二十四日は午前十 たが二十四日は午前十 を前に書東軍司令部、社會係 午後三時二十五分內地

主要都市に 方面委員設置

年齢十六、七歳の日本人男希望者は八月二十

仕

採

用

四日履歴書携帶本人出頭あれ

東軍

司

令

まづ新京特別市で

右者都合に依り八月二十日限り解雇仕候間爾今弊店とは何 等關係無之候に付此段廣告仕候 昭和九年八月二十日

土建金物商會新京支店

雇

廣

告

7 **無届嚴重取締** 女給の

をは直に右達反者では直に右達反者では直に右達反者では直に右達反者では更に十五日以下 ものが見受けられるのが見受けられるのが見受けられるのが見受けられる。 ではさきに市内 新京署更に調査開始

都大臣說辭

九月十五日午前十一時五分

同七時より(新京)丁交通運信局長の説辞

(大油)山内線裁及び藤井 を依頼の確定である

▲九月十八日、未定であるが 新京及ひ率天より事処追憶 「大田で表別単同令官又は 「西尾参謀長の構演、東京よ りは本庄侍從武官長の構演

價田外務大臣挨拶、

即ではない

傷病兵卅七名

園防婦人會新京婦人會は**融會** 千五百名に 選する事となった 選する事となった あつた各部除傷病兵三十七名新京衛戍病院に於て加豚甲で 歐傷病兵三十七名

商業生迎送

午後三時二十五分内地へ凱旋 ・ 大が二十四日は午前十一時三 ・ 大が二十四日は午前十一時三

▲千葉千代古氏(中央通り四番地)三男蔵さん二十日出生 ・ 一十五番地)三女みどりさん十七日出生 ・ 一十五番地)二十三日午前。時 ・ 一十五分死亡 那成

及歷書携帶本人來談 大經路六號 (吳威部前)

大浦タク

電話二三二九番

★ (超人風体聯盟) と 関防婦 を (超人風体聯盟) と 関防婦

限し子女在學記念に西廣場小 新泉鏡絡局廉田紀夫 學校員書室へ金一封寄財

▲森亀太郎に 曙町から説町四へ ▲石川正男氏 日本橋通りか



日二ピあ會大 もあと僅かに二日、いよ々々 第二回全新京排跡選手權大會 から地方事務所々長室で主將するため今二十四日午後三時は當日の組合せその他を决定

中 付 11-12ペー25、7000本期 切 11-12ペー250本期 切 11-12ペー250本期 か 11-20、13かの被で南切の骨加に反し刻みの被で南切の骨加に反し刻みの被

△地方事務所△組 (補) 淵藥、集田、高橋 (補) 淵藥、集田、高橋

皇帝盃爭勵

果然、人氣を呼ぶ

市盃爭闡

△保安區

△滿電クラブ

(補)吸、王、趙 (補)吸、王、趙 (本)、高、高橋、潤井、孫

銀行團リーグ戦

米水上選手

電話五二三六番へ

新京三笠町ニノナー

タケヤ靴店

京銀勝つ

對正金野球

、李、田史 辻

△新聲會

(補) 那須、後聯 野、須納瀬 野、須納瀬

△國務院主計處

アインプレー綾出戦※を喜こばす鮮銀常に押され氣味なる も最後の總攻撃に必死となり ・ も滿銀投手の好投野手の落付 きに如何とも出来す謎に凡打 に終はり惜敗す

3

艳

0

高森

星戦

是本、野中、竹内、小野、 主將 竹内

三十三億本

△檢車區

△新京驛 出場チ

△地方事務所B組 佐々木、山口、湯山、樋口 城村、森山、

新京 正金銀行製新京銀行機は二十十三正金銀行製新京銀行機を存むにて開始されたが、新京は二十三四次(中央の投手の肩の定まらざる内にで変更(主書)を出る。 1 中國、 中国、 2 年間 1 七0 17 7 後援 2 1 17 7 後援 2 1 17 7 後援 2 1 17 7 後 2 1 17 7 後 2 1 17 7 鮮銀對滿銀

満銀辛勝す

するのましたから 何卒宜敷御闢申上度く事になりましたから 何卒宜敷御闢申上げます今方ならぬ 御厚帽御引立に預り厚く御禮甲上げます今でと御喜ひ申上げます

午前八時より二時まで

小兒科 隨時 お 需ド 應ず